

媒体名	千葉日報
掲載日	2005年5月7日(土)

漫画本を図書館並みにそろえた「まんが喫茶(まんが喫茶)」が、インターネット使い放題感、シャワー設置などサービスをアップして、人気を取り戻している。漫画で育った二十代から四十代の男女を中心に、ひとときの癒やしの場になっっているようだ。

自室よりいい

「コミックバスター・エムドライブ西中島店はJR新大阪駅近くに昨年一月、オープンした。漫画本は新旧合わせて約二万冊。木製の壁で間仕切りされた二十七の席にはインターネット用パソコンが置かれ、ふかふかの

リクライニングシートが備えられている。男性店員はスーツにネクタイを着用して高級感を演出。間接照明でやや暗めの店内には、ジャズが静かに流れている。

漫画を読むだけでなく、無料で使えるパソコンでゲームにふける若者も多い。料金は最初の一時間が四百二十円で、コーヒーやジュースなどはお代わり自由。一日に会社員ら約百三十人が来店するといふ。

「上質な安らぎの空間を提供したい」と佐藤誠店長。「昼休みに弁当を持ち込んでひと息入れる方や、仕事帰りに立ち寄って二、三

まんが喫茶、人気再燃

時間のんびり過ごされ方が多い」

近所で一人暮らしの男性(38)は「自分の部屋より居心地がいい」。同じ年の女性は「誰にも邪魔されず、自分のペースで漫画を読むと心からくつろげます」と話す。

女性重視

学生の町である東京・高田馬場の「ルシェ」は、一日二百人以上の利用者のほぼ半数が女性だ。約二万五千冊の漫画本の約三割が少女コミックで、女性ファッション誌も数十種類が本棚に並ぶ。

畳一畳ほどの和風個室、二人掛けのソファ



足伸ばしてくつろぐ女性—東京都新宿区霧田の「まんが喫茶」で

「女性には清潔感が大事(山本裕美店長)」

「まんが喫茶イコールおたくの集まる場所」とのイメージが強まり一時衰退した。九〇年代後半からレストラン並みの食事やネイルアートなど個性的なサービスを導入して再び急成長、昨年の一年間で約五百店も増え、計約三千店に達している。お客のニーズを取り込んで再生したまんが喫、さて次の一手は?

「女性には清潔感が大事(山本裕美店長)」

「まんが喫茶イコールおたくの集まる場所」とのイメージが強まり一時衰退した。九〇年代後半からレストラン並みの食事やネイルアートなど個性的なサービスを導入して再び急成長、昨年の一年間で約五百店も増え、計約三千店に達している。お客のニーズを取り込んで再生したまんが喫、さて次の一手は?

「喫茶店やレストランだと長居しづらい。まんが喫なら気持ちよく暇つぶしできます」と業界団体「日本複合カフェ協会(東京)」によると、まんが喫は一九八〇年ごろ名古屋で誕生。バブル経済とともに全国に広まったが、